

(第1面)

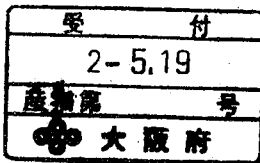
産業廃棄物処理計画書

2020年 5月20日

大阪府知事 殿

提出者

住 所 大阪府門真市大字門真1048  
 氏 名 パナソニック住宅設備株式会社  
 代表取締役社長 武智 裕介



(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6906-8531

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニック住宅設備株式会社 門真工場
事業場の所在地	大阪府門真市大字門真1048
計画期間	平成2年4月1日 ~ 令和3年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	12 木材・木製品製造業（家具を除く）
②事業の規模	製造品出荷金額 58.4億円/年
③従業員数	330名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別添のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック(混合廃棄物)
	排出量	1700.9 t	41.2 t
	(これまでに実施した取組) ・CIMストッカー改造による歩留まり向上 ・CIM端材活用による外作部材内作化 ・扉不良削減による木屑廃棄削減 ・カウンター不良削減による廃プラ廃棄削減		
②計画			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック(混合廃棄物)
	排出量	383 t	125 t
	(今後実施する予定の取組) ・部材加工生産方法変更による歩留まり向上 ・部材加工不良削減による木屑削減 ・扉不良削減による木屑削減 ・箱組立不良削減による木屑削減		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木粉、木くず、廃プラスチックは、それぞれ分別保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工場再編による廃棄物保管場所変更

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃プラスチック (カウンター)	一般廃油		
263.5 t	0.23 t	t	t

②計画

廃プラスチック (カウンター)	一般廃油		
10 t	0.12 t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック(混合廃棄物)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック(混合廃棄物)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック(混合廃棄物)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック(混合廃棄物)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

廃プラスチック(カウンター)	一般廃油		
0 t	0 t	t	t

②計画

廃プラスチック(カウンター)	一般廃油		
0 t	0 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

廃プラスチック(カウンター)	一般廃油		
0 t	0 t	t	t
t	t	t	t

②計画

廃プラスチック(カウンター)	一般廃油		
0 t	0 t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック（混合廃棄物）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック（混合廃棄物）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック（混合廃棄物）
	全処理委託量	1700.9 t	41.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	41.2 t
	再生利用業者への処理委託量	1700.9 t	41.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t
	（これまでに実施した取組） ・混合廃棄物処分単価改定実施		



自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

廃プラスチック (カウンター)	一般廃油		
0 t	0 t	t	t

②計画

廃プラスチック (カウンター)	一般廃油		
0 t	0 t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃プラスチック (カウンター)	一般廃油		
263.54 t	0.23 t	t	t
263.54 t	0.23 t	t	t
263.54 t	0.23 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック(混合廃棄物)
	全処理委託量	383 t	125 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	125 t
	再生利用業者への処理委託量	383 t	125 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・電子マニフェストの運用は、今後も継続して実施する。 ・木屑産廃優良認定の取得お願い			
※事務処理欄			

②計画

廃プラスチック (カウンター)	一般廃油		
10 t	0.12 t	t	t
10 t	0.12 t	t	t
10 t	0.12 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

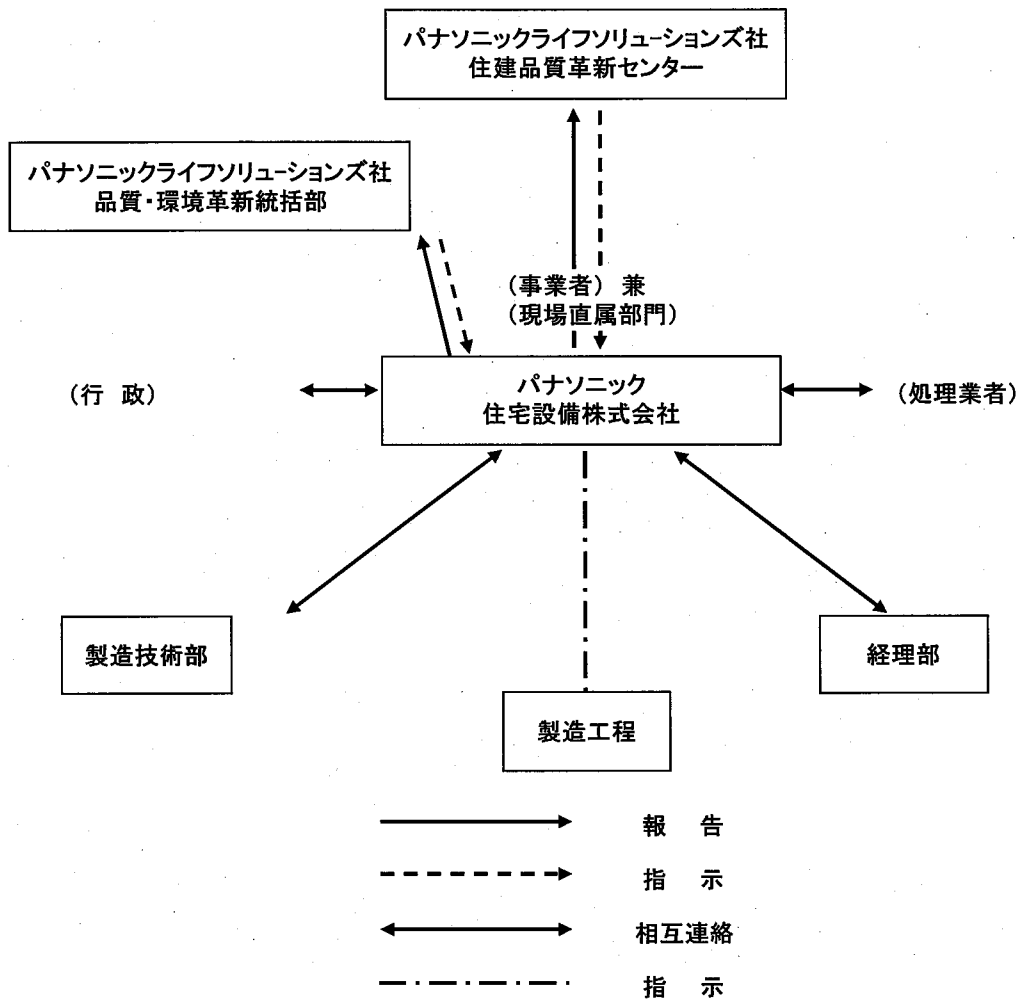
②計画

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

[管理体制図]



[各部署の役割]

部署	役割
Panasonic Life Solutions Co., Ltd. Housing Quality Innovation Center Panasonicライフソリューションズ社 ハウジング品質革新センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等</li> <li>各部門間の調整及び指示</li> <li>法規制、及びその他要求事項等の情報発信</li> <li>環境外部監査での事務局的役割</li> </ul>
Panasonic Life Solutions Co., Ltd. Quality & Environment Innovation Division 品質・環境革新統括部 門真地区環境センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺地域における環境事象の分析、及び測定等</li> <li>法規制、及びその他要求事項等の情報発信</li> <li>環境内部監査での事務局役割</li> </ul>
Panasonic Home Equipment Co., Ltd. Manufacturing Department Panasonic 住宅設備株式会社 門真工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して、統括的に把握管理</li> <li>産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等</li> <li>各現場の施設の維持管理点検等</li> <li>行政に対する報告等</li> <li>処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理</li> <li>産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発</li> <li>廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し、産業廃棄物処理計画の策定及びその実施</li> </ul>
Panasonic Home Equipment Co., Ltd. Manufacturing Technology Department Panasonic 住宅設備株式会社 製造技術部	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造工程の研究開発</li> <li>産業廃棄物処理技術の研究開発</li> <li>産業廃棄物減量化手法の調査研究</li> </ul>
Panasonic Home Equipment Co., Ltd. Management Department Panasonic 住宅設備株式会社 経理部	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の適正処理費用の算出</li> <li>委託料金の支払方法による業者管理</li> </ul>

パナソニック住宅設備株式会社 門真工場廃棄物発生工程フロー（令和元年度実績）

【システムキッチン工場】

